平成 29年度　高松市施策評価表（28年度分）

総合計画体系		
まちづくりの目標		安全で安心して暮らし続けられるまち
	政 策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
	施 策	交通安全対策の充実

総合評価
A

評価担当	
局名	市民政策局
課・室名	くらし安全安心課
電話番号	087-839-2555

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	交通安全教育・啓発活動を推進し、交通安全意識の向上を図り、市民が道路を安心して、安全に通行できる環境を整える。

2 施策の成果状況

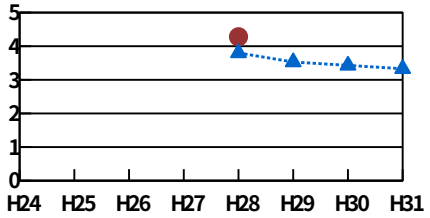
成果指標①

指標名	単位		実績値 26年度	実績値 27年度	実績値 28年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき
人口１０万人当たりの交通事故による死者数	人				4.28	3.43	3.23	

成果状況／達成度評価

交通事故による死者数は、平成２７年の２１人から２８年は１８人と３人減少したものの、目標値には達していないため、引き続き、交通安全教育・啓発の推進と交通環境の整備を推進していく。

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）87.4%

26点

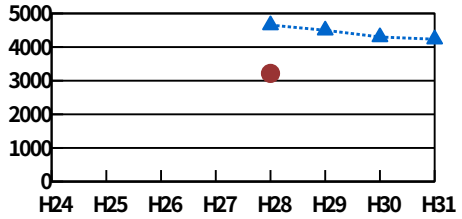
成果指標②

指標名	単位		実績値 26年度	実績値 27年度	実績値 28年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき
交通事故発生件数	件				3,217	4,300	3,764	

成果状況／達成度評価

平成１８年をピークに交通事故発生件数は年々減少しており、平成２８年も対前年比９０%の件数と順調に推移している。

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）130.9%

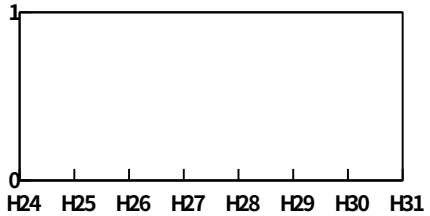
30点

成果指標③

指標名	単位		実績値 26年度	実績値 27年度	実績値 28年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき

成果状況／達成度評価

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）

3 市民満足度調査の状況

	26年度	27年度	28年度	うごき
満足度	位　（　　%）	位　（　　%）	44位　（ 19.6%）	
不満度	位　（　　%）	位　（　　%）	3位　（ 34.3%）	
重要度	位　（　　%）	位　（　　%）	2位　（ 82.4%）	

4 施策に係るコスト

	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）
事業費	150,066	168,722	142,696	149,085
人件費	46,943	44,644	93,662	93,662
トータルコスト	197,009	213,366	236,358	242,747

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

【市民政策局・都市整備局】高齢者に対する交通安全対策を推進するとともに、地域との協働で交通マナーの一層の向上に取り組んでいるほか、交通安全施設整備による安全対策を図るなど、安全な道路環境整備を推進している。
　今後も、交通安全教育や啓発活動に取り組むとともに、道路環境整備の効果的な推進により、交通事故防止に努める必要がある。

施策推進の方向性

市民満足度調査において不満度が高い現状も踏まえ、引き続き、交通安全対策の充実に向け、各種事業を推進していく。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						（総合評価） A	
交通安全教育・啓発の推進							
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		交通安全教育等推進事業	87%	A	継続	幼稚園、保育所、小学校、中学校交通安全教室参加者数	95.0%
						高齢者交通安全教室等参加者数	88.5%
		交通安全啓発推進事業	85%	B	継続	交通安全フェア参加者数	83.3%
						統一街頭キャンペーン参加者数	103.4%
		交通事故相談事業	87%	A	改善継続	問題解決支援件数	95.3%
○	○	高齢者交通安全啓発推進事業	86%	A	継続	ＩＣカード乗車券交付申請者数	105.1%
						高齢者交通安全教室等参加者数	88.5%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						（総合評価） A	
交通環境の整備							
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		違法駐車防止対策事業	94%	A	継続	違法駐車防止重点区域における平均瞬間違法駐車台数	103.2%
		放置自動車等対策事業	80%	B	継続		
		（評価対象外）交通安全施設整備事業					
		（評価対象外）番町地下道管理事業					

基本事業名						（総合評価）	
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度